

令和2年9月三田市議会定例会(第357回)一般質問発言通告一覧

(第3日・9月2日 個人質問)

21番 國永 紀子 <一問一答>

- 1 少人数教育への見直しの議論がある中で学校統廃合についての見解を問う
 - (1) コロナ禍の中で、少人数教育の方向性についての見解を問う。
 - (2) 改めて、統廃合を見直し、小規模校での教育の充実を図ることについて問う。
- 2 幼稚園の再編計画は早急すぎるのではないのか見解を問う
 - (1) 該当する地域が広大な中、通り一遍の説明会ではなく、関係者の意見を丁寧に聞く必要があると考えるが見解を問う。
- 3 コロナ禍でのインフルエンザ予防ワクチン接種補助について
 - (1) 新型コロナ感染拡大抑制のためにも、インフルエンザ予防ワクチン接種の補助が必要と考えるが見解を問う。
- 4 (仮称)三田市人と人との共生条例の問題点について
 - (1) 条例作成に必要な「立法事実」について問う。
 - (2) 意識調査は、条例制定ありきで、憲法第19条「内心の自由」に踏み込む内容があり、また一方で働く人の権利や市民の命・暮らしの側面からの質問が欠如していたと考えるが見解を問う。

7番 佐々木 智文 <一問一答>

- 1 三田市重度障害者等日常生活用具給付事業について
 - (1) 盲人用血圧計を日常生活用具に追加。
 - (2) 日常生活用具の新規追加及び採用プロセス。
- 2 市内を拠点にしている文化団体やグループの支援について
 - (1) 動画配信サービスを使つての支援。
 - (2) 三田市総合文化センター(郷の音ホール)の大小ホール空調費の減免。
- 3 三田市所有の動画配信について
 - (1) 三田市の紹介や地域での祭りイベントの動画配信。

19番 松岡 信生 <一問一答>

- 1 2040年へ向けての地方行政のあり方について
 - (1) デジタル化及び自主的な広域連携の考えについて。
 - (2) 「地域の未来予測」の策定による政策や計画への反映について。
- 2 コロナ禍の影響が懸念される対策検討について
 - (1) 子どもの貧困率悪化に対する調査と支援策について。
 - (2) 保育士や幼稚園教諭の負担増に対する支援について。
 - (3) 生活困窮世帯の空調等の設置に関する調査と支援について。
- 3 長寿社会に向けた取り組みについて
 - (1) 認知症の人に優しいまちづくりの取り組みについて。

(2) 認知症者に対する事故救済制度の構築について。

11番 長尾 明憲 <一問一答>

1 三田市として新型コロナ第1波の検証と今後の感染症対策をどう考えるのか

(1) 県は新型コロナウイルス感染症に係る兵庫県対処方針を出しているが、三田市の対処方針をつくる必要があるのではないかと市の見解を問う。

(2) 経済対策は行ってきたが、感染症対策そのものは県任せになっている。市の対策会議に保健所や専門家の参加を求めるか、別途専門会議を三田市として設置すべきではないかと市の見解を問う。

(3) PCR検査センターの設置について。

2 保健所機能の強化について

(1) 保健所が減らされてきたことが全国で問題になっている。先の6月定例会ではフルスペックで持つことは考えないと答弁もあったが、今の三田市に十分な機能が連携で補えているとも思えない。保健所機能を強化する必要があると考えるが、市の見解を問う。

3 市民病院統合の方向性を見直すべきではないか

(1) コロナ禍で果たしてきた市民病院の役割を考へても病院統合の方向性は考へ直すべきと考へるが市の見解を問う。

(2) 済生会兵庫県病院、神戸市と行われている連携協議では事実上の再編統合に進む道が示されている。この段階で市民に説明責任を果たすべきではないかと考へるが市の見解を問う。